

# 26年4月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成26年 3月20日 ~ 26年4月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
4月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = \{ (「増加」の評価を行った回答の割合) \times 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) \times 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) \} \div 2$   
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		26/4月	5月	6月
入荷動向	スギ	14.3	0.0	16.7
	ヒノキ	0.0	0.0	0.0
	カラマツ	42.9	50.0	50.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0
消費動向	スギ	14.3	0.0	50.0
	ヒノキ	0.0	20.0	20.0
	カラマツ	14.3	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	0.0	0.0	0.0
	ヒノキ	20.0	0.0	20.0
	カラマツ	33.3	40.0	40.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0

スギ原木の入荷は4月のやや増が5月の横ばいを経て6月にはやや増に、ヒノキ原木は横ばい、カラマツ及びトドマツの入荷は減少傾向で推移。スギ原木の消費は4月の減少が6月に向け増加に、ヒノキは4月の横ばいが5月の減少を経て6月には増加に、カラマツは4月の減少が5,6月には横ばいに、トドマツは横ばいで推移。スギ原木の在庫は横ばいで推移、ヒノキは4月の増加が5月の横ばいを経て6月には減少に、カラマツ及びトドマツは減少傾向で推移。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	26/4月	5月	6月
スギ	14.3	16.7	33.3
ヒノキ	0.0	20.0	20.0
カラマツ	42.9	0.0	33.3
米マツ	40.0	20.0	20.0
北洋カラマツ	80.0	25.0	25.0
その他	66.7	50.0	50.0

スギ原木価格は、4月のやや強保合が5,6月には弱保合に、ヒノキは4月の横ばいが5,6月には弱保合に、カラマツは4月の強含みが6月に向け弱保合に、米マツ及び北洋カラマツは4,5月の強含みないし強保合が6月には弱保合に、その他は強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・前月に比べスギ材入荷の増が見込まれる。消費はスギ及びヒノキとも計画通り稼働予定。在庫はスギ材入荷減により全体的に減少。
- ・スギ及びカラマツ原木は前月よりは良くなっているが、依然予定通り入ってこない。入荷に合わせた消費。在庫は少ないが入荷分を消費しており、在庫はほぼ横ばい。
- ・暖かくなるにつれ出材増えてきた。フル稼働も、在庫増えず。
- ・天候良く順調に出材、製材向け減っているため合板用への出材増えている。今月もフル生産、5月はGWで工場整備があり消費減。原木入荷多く在庫増、まだ土場に余裕があるので増やしたい。

(原木価格)

- ・スギ、ヒノキ及びカラマツ原木の4~6月3カ月間の価格は3月中旬に決定されたが、前月より再度上昇。
- ・国産のスギ及びカラマツ原木は横ばい、北洋カラマツは前月より落ち着いてきたが、現地は強気姿勢変わらず。
- ・国産材B材はバイオマス等含め取り合い。外材は全てにおいて強気。
- ・スギは底値感出てきた、ヒノキは製材メーカーの買い注文なく、まだ下がる、今後海外輸出向けの動き次第で価格変動も。

## 26年4月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		26/4月	5月	6月
生産動向	構造用(9mm)	16.7	20.0	20.0
	" (12mm)	0.0	16.7	16.7
	" (15mm)	14.3	0.0	0.0
	" (24mm)	14.3	16.7	16.7
	" (28mm)	14.3	16.7	16.7
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	" (12mm)	0.0	16.7	0.0
	" (15mm)	0.0	16.7	0.0
	" (24mm)	0.0	16.7	0.0
	" (28mm)	0.0	16.7	0.0
在庫動向	構造用(9mm)	33.3	20.0	0.0
	" (12mm)	0.0	16.7	0.0
	" (15mm)	14.3	16.7	0.0
	" (24mm)	14.3	16.7	0.0
	" (28mm)	14.3	16.7	0.0

9mm、24mm及び28mmの生産は4月の減少が5、6月には増加に、12mmは4月の横ばいが5、6月には増加に、15mmは4月の減少が5、6月には横ばいに。  
9mmの出荷は、横ばいで推移、12mm、15mm、24mm及び28mmは4月の横ばいが5月の増加を経て6月には横ばいに。  
9mm、15mm、24mm及び28mmの在庫は4、5月の減少が6月には横ばいに、12mmは4月の横ばいが5月の減少を経て6月には横ばいに。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	26/4月	5月	6月
構造用(9mm)	14.3	0.0	0.0
" (12mm)	14.3	0.0	0.0
" (15mm)	14.3	0.0	0.0
" (24mm)	14.3	0.0	0.0
" (28mm)	14.3	0.0	0.0

出荷価格は、いずれの品目についても4月のやや強保合が5、6月には横ばいに。

## モニターからのコメント

## (合板荷動き)

- ・計画通り生産数量を確保、出荷は3、4月一息つく感があるものの、計画通り出荷、在庫も大きな変動はなく、当月は特定品種増加を図る計画。
- ・生単板の乾燥が悪く、全体的に生産は減少。受注はあるがトラック取りにくく、生産が予定通り出てこず、出荷は横ばい。生産予定通り出てこない分、在庫は減少。
- ・生産、出荷、在庫変わりなし。
- ・作っては出すで追いつかず。
- ・4月は多少落ち着き、プレカットは好、不調のところと2極化。5月からは動き出てくると予想。在庫は多少持ちたいが貯まらず。

## (合板価格)

- ・原木、接着剤及び電力の値上げ分等を価格上昇に期待する。
- ・前月値上げした分、横ばい。
- ・丸太、接着剤、電気及び運賃等コストアップにより値上げせざるを得ないか。
- ・増税駆け込み需要も終わり、需給バランス改善される模様。接着剤等石油製品の値上がり、国産材の不安定価格など価格上昇の不安定要素は多い。